



行って、見て、感じて、考える
第7回SGRAふくしまスタディツアー参加者募集

関口グローバル研究会（SGRA）では2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯舘（いいたて）村でのスタディツアーを行ってきました。
そのスタディツアーでの体験や考察をもとにしてSGRAワークショップ、SGRAフォーラム、SGRAカフェなど、さまざまな催しを展開してきました。
今年も第7回目の「SGRAふくしまスタディツアー」を行います。ぜひ、ご参加ください。

《「ふるさと」に帰る…》

日程：2018年5月25日（金）、26日（土）、27日（日）

人数：10～15人程度

宿泊：ふくしま再生の会-霊山（りょうぜん）センター

参加費：奨学生、元奨学生（ラクーンメンバー）は参加費無料
（一般参加者は新幹線往復費用＋1万2千円）

申込み締切：5月10日

申込み・問合せ：SGRA事務局 角田 tsunodaaisf@gmail.com Tel:03-3943-7612

【プログラム】

（プログラムは現地の状況を見ながら進めます）

第1日目 5月25日（金）

朝：午前9時頃 東京⇒福島（新幹線）

午後：飯舘村内の視察・見学

夜：飯舘村住民、ふくしま再生の会のメンバーとの語らい

テーマ：「新しい「ふるさと」をつくる」（菅野宗夫）

「ふくしま再生の会の活動/何を目指すのか」（田尾陽一）

第2日目 5月26日（土）

午前：飯舘村内の視察・見学

新しい村づくりプロジェクトの見学：太陽光発電＋牛の放牧、花のハウス栽培、酒米作り

午後：飯舘村の方々との対話

飯舘村佐須市区老人会：菅野永徳「新しいふるさと」づくり。地域の文化をどう残すか

夜：地域住民との懇親会・若い世代との語らい

「今、本当に必要なこと」

第3日目 5月27日（日）

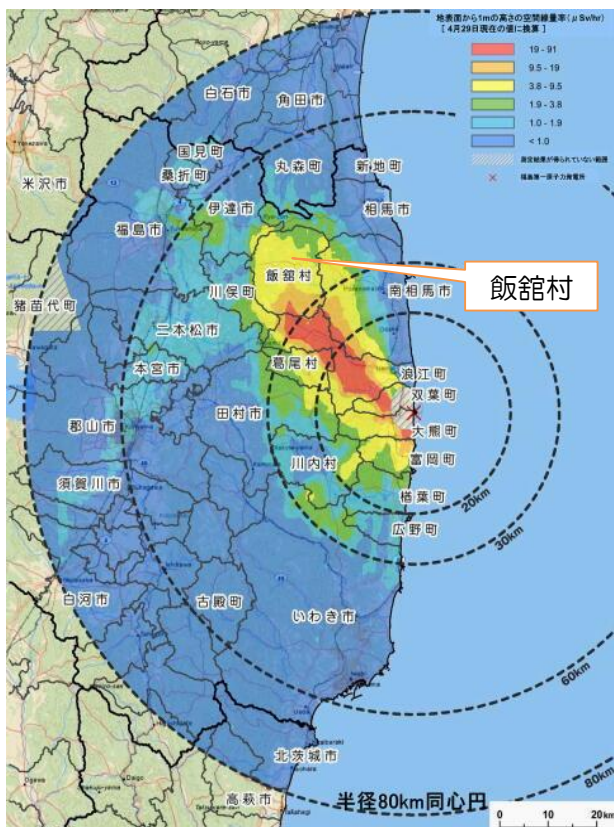
午前：「田植え」：飯舘村、再生の会の方々との協働作業

午後：午後4時頃 飯舘⇒福島、福島⇒東京（新幹線）

★食事は自炊します！お料理自慢の方、自分の国の料理を作りたい方、大歓迎です！！

ツアーの安全性について：

1. 飯舘村の活動地域の放射線量は低くなり、飯舘村内では徐々に住民が帰還しはじめています。
2. ツアーには放射能問題の専門家が同行し、放射線量が高いと思われる場所での活動は行いません。
3. 一人一人が放射線測定器を持ち、自分で計測し、ポイントごとに安全を確認しながら行動します。



文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果

《飯館（いいたて）村とは》

東京から北に約300Km

福島第一原発から北西に約30～40Km

人口：6,100人

面積：230Km²（東京の山手線内の3.5倍）

主な産業：酪農、農業、林業など

飯館村は75%が森林に囲まれ「日本の美しい村100選」にも選ばれた村でした。

《飯館村の放射能被害》

- 東日本大震災による福島第一原発事故が発生したのは2011年3月11日。この時点では飯館村には深刻な被害はありませんでした。
- しかし、3月14日福島第一原発が水蒸気爆発をおこし大気中に放射能汚染物質（radioactive pollutant）がまき散らされました。放射能汚染物質が風に乗って飯館村の上空に来た時、雨や雪が降り、雨や雪に付着した放射能汚染物質が飯館村に降り注いだのです。
- そして25日に政府から突然に全村民の避難指示が出され、避難生活が始まりました。
- それから、7年が経過したのです。

【飯館村の現状と課題】

- 膨大な資金を投入して行われた家屋や農地の除染（decontamination）事業により放射線量も徐々に下がり、飯館村に対する「避難指示」は、**2017年3月31日に解除されました。**
- 7年間各地に避難していた住民が、「ふるさと」に帰り始めています。「ふるさと」に帰る住民のほとんどはご老人です。そして、帰還したとしても、昔ながらの美しかった「ふるさと」は、もうそこにはありません。汚染され、放棄されてしまった土地では、以前と同様の酪農や農業林業を営んで行くことはできません。
- 多くの住民たちは「自分のふるさとに帰りたい」、「ふるさとで昔ながらの生活をしたい」という想いを持つ一方で、帰ったとしても「生活ができるのだろうか」という不安とジレンマに直面しているのです。
- こうした困難な状況にも関わらず、地域の文化、伝統を継承しながらの「新しいふるさとづくり」、50年先を考えた、地域づくりのチャレンジが始まろうとしています。

【ふくしま再生の会とは】

- 今回のスタディツアーの受入団体であるふくしま再生の会は、飯館村の住民、都市からのボランティア、大学等の研究者/学識者（東大大学院農業学生命科学研究科、高エネルギー加速器研究機構等、世界の大学・研究所）の3グループのコラボレーションを原則として、飯館村でボランティア活動を行っている認定NPO法人です。
- 2011年秋から、飯館村の再生プロジェクトとして、住民による効率的な除染方法の研究開発や飯館村に伝わる「マテイ（真手）」の考え方をもとにした、**サステイナブル/エコロジカルな地域産業とコミュニティの再生**に取り組んでいます。
- ふくしま再生の会の活動については下記のURLをご覧ください。

<http://www.fukushima-saisei.jp/>